

とことん！淡路島ぐるりんロード

8月13日（土）～ 8月17日（水）

IN 諭鶴羽神社、国立淡路青少年交流の家、民宿『西田荘』

	午前	午後	夜
1日目	淡路島に向けて出発 ぐるりんスタート	ぐるりんサイクル	諭鶴羽山到着・振り返り
2日目	ぐるりんサイクル	施設到着・昼寝 レクリエーション	振り返り
3日目	海遊び	海遊び 野外炊飯	振り返り
4日目	ぐるりんサイクル	ぐるりんサイクル 民宿到着	振り返り
5日目	ぐるりんサイクル	淡路島を出発 解散	

一日目： 各集合場所から明石に集まり、自転車を借り、淡路島へ渡りました。渡った先で自転車について話を聞き、各メンバーに合うように調整をしました。そのあとは、安全に運転できるかどうかの為に試験を行い、合格したグループから順次スタートしました。天気は快晴猛暑で、走る環境としてはなかなか辛い状況です。暑さに体力を奪われていきますが、適度な休憩と水分補給、そして友達の掛け声や応援などで頑張っています。お昼休憩を挟むと午後からは暑さもピークになり、しんどさが増してきましたが、お店のご厚意により、水を浴びて体を冷やすことができ、みんなの険しく苦しい表情に笑顔が戻りました。後半になると、初日最大の難所である「山越え」です。手押しでひたすら45分かけて登り、一気に下ります。下りは後半なので疲れが出ており、つい恐怖からスピードが出せず、余計に疲労が溜まります。日も徐々に暮れ始めましたが、「ゴールをしたい！」という一心で声をかけ合い、走りました。そして、どのグループもリタイアすることなく、見事ゴールすることが出来ました。宿泊場所は『諭鶴羽神社』の休憩所をお借りしました。夕食を済ませ、一日の振り返りを行いました。出発前に各グループ、「5日目にグループはこうなっていたい」と目標を決めました。それに対してどうだったか？動けていたか？を話し合いました。そこで「目標を実現するための目標」を決め明日に備えました。

二日目： 朝早くから活動が始まりました。起床して、荷物の片付け、寝袋を片付け、朝食を済ませました。その後、お世話になった諭鶴羽神社の奉仕活動として境内の草抜きを行いました。そして神社を出発しました。颯爽と下山し、交流の家までラストスパートです。気合い十分のみんなの表情は、一日目に比べてとても勇ましく感じました。急な丘をいくつか越え、ついに施設に到着できました。歓喜溢れるかと思いきや、疲れが勝っており座り込んでおられましたが、嬉しさは滲み出ていました。部屋に荷物を入れた後、昼食を食堂で済ませ、午後からは疲れた体を休めるためにお昼寝をしました。横になると数分で寝息が聞こえ、とても心地よさそうに寝られていました。夕食後、昨日も行った一日の振り返りを行いました。初日より深く、細かく話し合いました。グループによっては揉めたり、言い合ったりしている場面もありましたが、それもお互いの想いを共有する大事関わりなので、話し合っ乗り越えていただきます。翌日は施設で一日活動です。よりグループ、友達との関わりを深めていきます。



三日目： さすがに疲れが溜まってきたのか、朝のみんなの表情はとても眠そうでした。しかし、同時に海遊びが楽しみな気持ちもあったようで、朝から「海遊び！」と嬉しそうな声も聞こえていました。朝の集いをして、朝食を済ませ、海水浴場へ向かいました。海水浴場では、人が多く、かなり混んでいましたが、「譲る」ことを第一に楽しませていました。昼食を挟み、残りの時間も存分に楽しみました。海遊びが終わり、施設に戻り片付けをした後は、お楽しみ第二弾、『野外炊飯』です。メニューはお馴染みの焼きそばです。スピードメニューなので、野菜を切り、炒め、味付けをし、盛り付けるまでみんなで分担しテキパキと動きました。味付けもバッチリで、ペロリと完食されました。夜は3回目の振り返りです。今までとは少し異なり、振り返りの内容を発表してもらいました。



四日目： 今日は折り返し走行日です。朝から緊張と意気込みを感じる雰囲気です。荷物の片付け、清掃、朝食を済まし、各グループ確認をしてから出発しました。初日とは違い、自転車の厳しさや楽しさ、乗り方を知っているため、坂道でも「ここは踏ん張ろう！」、「ここは慎重に進もう！」などお互いが声を掛け合い、大きな成長を伺うことができました。1つ、2つ大きな丘を越えると目の前に大きな橋が見えてきました。『鳴門海峡大橋』です。淡路島の最西端に到着しました。『道の駅うずしお』にてお弁当を食べました。また橋の下に行き、うずしおを見る事も出来ました。休憩も含め、たっぷり観光を楽しみました。道の駅を後にし、残りの道を進みました。ここまでくれば走りも上達し、順調に進んでいます。頑張っって漕ぎ続け、全員17時に到着することが出来ました。お世話になる「西田荘さん」から労いでかき氷をいただきました。疲れ、火照った体に染み渡り、一気に表情が緩やかになりました。晩御飯はお楽しみBBQです。自分たちで焼き、終始笑顔で食べておられました。西田荘さんから流しそうめんをしていただき、これにもみんな大興奮でした。食後はいつもの緊張を解き、浜辺で大はしゃぎして楽しみました。明日は最終日、ゴールを目指します。みんなの疲れも極限まで来ています。布団に入り、電気が消えるとすぐに寝られました。



五日目： 昨夜に心置きなく楽しみ、気が緩んだせいか朝の皆の顔から眠たさと疲れが表れていました。朝食は西田荘さんからのご提供で美味しくいただきました。夜に出来なかった振り返りを出発前にし、目標を決めてスタートです。自転車に乗る時には、いつもの緊張感が溢れておりました。今までの道に比べ、平坦な道が多く、難所もないので、比較的走りやすい道のりですが、それが気の緩みにならないよう、常に意識して走っていただきました。昼食は、淡路島ではお楽しみの自分たちで好きなものを買うことが出来ます。お店でおにぎりや、サンドイッチ、ざるそばなどメンバーが食べたいと思われる品を購入し、嬉しそうに食べておられました。とうとう残り最後の走りです。明石や神戸の街が見えてきました。ゴールが見えてくると、やる気も湧き上がってきます。気力だけでペダルを踏みます。そして、大きな『明石海峡大橋』が見えてきました。手前のコンビニで休憩をし、ゴールへの道を進みます。そしてついにスタートした岩屋港へ帰ってきました。体を十分に休め、最後の振り返りを行いました。5日間かけて走ってきたこの道中で何を知り、何を学び、何を感じてきたのかをじっくりと話し合いました。フェリーで再び明石の街へ戻り、自転車を返却し、電車にて三ノ宮へ戻りました。一緒に苦楽を共にした仲間とお別れです。また、来年是非一緒に走りましょう！本当にお疲れ様でした！！



<キャンプ総括>

今年も沢山のドラマがありました。メンバー同士で揉める事は毎年の事ですが、今回は少し異なる内容でした。メンバーの事を思い『厳しく』接する姿が伺えました。「優しい言葉ばかり伝えても、友達の為にはならない！」という言葉がリーダーではなくメンバーから聞きました。故、逆にリーダーが優しくフォローしているといった普段とは立場が逆転している様子がありました。このキャンプは「楽」なものはありません。施設にて二泊しますが、その期間中も何か問題起れば連帯責任として問われるので、お互いの動きや発言に意識を向けておかなければいけません。普段の生活にこのような厳しい環境はあまりないと思います。だからこそ自分の弱さ、強さ、優しさ、厳しさを感じる事が出来ます。淡路島を一周した時の達成感とキャンプを通して身に付いた心の成長を普段の生活にいかしていただきたいと思います。(竹中 哲郎)